



イラスト  
コーナー

イラストは  
たてに描いてね

このコーナーでは、みなさんからのお便りをお待ちしています。  
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 [kanri@town.mifune.lg.jp](mailto:kanri@town.mifune.lg.jp)

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼中学3年生の写真。最後の中体連はエースとしてチームを牽引。決勝ではあと一步のところで優勝を逃すも仲間と流した汗は一生の思い出



嶋田 夏美 さん



西山 美沙妃 さん



遠山 紀杏 さん

## 先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どものころの思い出を話してもらうコーナーです。

### 忘れられない一投



木倉小学校 荒木 完二教頭  
(旧阿蘇町出身・47歳)

自然の中で思いっきり遊んだ小学生時代。野球に夢中になった中学生時代。忘れられないシーンがたくさんあります。その中の一つ「忘れられない一投」。中体連の優勝は最後にして最大の目標でした。決勝戦の最終回、自ら一死満塁というピンチを招き、監督から投手交代を告げられました。ライトのポジションに入った途端にライトフライ。ワンバウンドさせてストライク返球、イメージ通りのバツクホーム。ところが、バウンドしたボールは大きくはねて捕手の頭を越えていきました。そのボールの軌道をスローモーションのようにはつきりと覚えています。一生懸命に頑張った仲間に申し訳ない気持ちで、しばらくは茫然とし、その後涙が止まりませんでした。「なぜあんなにはねたんだろう」と今でも思うことがあります。ほろ苦い思い出ですが、仲間と一つの目標に向かって一生懸命頑張っていたころの青春の一シーンです。

みなさんからのお便りをご紹介します。

まちへのラブレター

**今** 年の春は2人の子供達の卒業（卒園）、入学が重なりました。卒園・卒業というものは、やはり感動するシーンがあり、思わずもらい泣き。続けて二日も泣いてしまいました。子供の成長の喜びとこれからどんな学校生活を送ってくれるのかな!?という心配が入り交じった気持ちになりました。これから先、いろいろな心配事、ハラハラさせられる事などが待っていると思います。子供と共に日々、私（親）も成長していけたらと思っております。  
(滝尾・Sさん)

2人の子供さんの卒業（卒園・入学おめでとうございます。家族にとっては節目の大イベントですね。これまでの成長や思い出もあり感動されたことでしょう。また新しいスタートを切り、不安もあらわれるかと思いますが、これらの成長を見守りながら、子育てを楽しまれてください。  
(広報担当)

**不** 安定な今年の春の元気で冬に戻った様な寒い日が続いて、農家で働いていらっしゃる方が心配の今頃、月一の広報みふねを楽しみに待つ一人です。  
(小坂・Tさん)

今年の春はいつまでも寒さが続き、朝晩は冷え込んでいます。4月に入っても霜注意報が出たり、5月になってゴルフシーズン中は夏日が続いたりと異常気象ですね。体調管理には十分注意されてお過ごしください。今月の広報みふねも情報満載です。どうぞお楽しみください。  
(広報担当)

## 文芸

### 短歌

ごめんなさいあなたのことは忘れてた梅の木下の黄の水仙  
藤本 京子  
服よりも体型の補正が先決と野次りしあなた何処でくしやみ  
正宗タツ子  
大ホールに響く小太鼓中太鼓ドンとドンと大太鼓の音  
山本志満子  
蝶々の羽化するさまに見えもして木々の芽吹きは綻び見ゆる  
市川 結子  
あなたをば残して逝けぬと言ひたれば微笑み返す雪降る夕べ  
甲斐レイ子  
追憶の桜は哀し「桜花と散れ」と送り出されき彼の日兵らは  
金森 英子  
長かりし寒のゆさぶり耐えし吾見上ぐる空に春の浮雲  
北村やよい

### 俳句

御船春菊句会 大坪路子選

演奏を聞きあるごとく散る桜  
散り急ぐ花の如くに逝かれけり  
城山に続々登り花万朵  
けいちつ 啓蟄や母が恋しくなる齢  
鶯の庭木に止まる初音かな  
肩叩き合ふ再会の花の下  
おととひはとうのむかしよ春霞  
渡辺ケイ子  
守田 律子  
赤星 和子  
黒田 順子  
渡辺 澄江  
さとうともこ  
いつのひろ

### 肥後狂句

天狗会

そらあ嫌 親は相統放棄しゆう  
頭が痛い 難題ばかりめじろ押し  
こそばいさ 昼間他人ですれ違い  
悔しき余り 夜通し酒の慰むる  
待つとつた 無事出産の電話口  
揺れ動き 友情なのか恋なのか  
頭が痛い うちの予算も削減か  
増永 笑和  
坂本 周礼  
平野 千鶴  
吉田 栄園  
鳥井 蘭  
江藤 お竜  
河地 ゆき

### 一般投稿

年の瀬のウォーキングに参加して故郷の山に紅葉を覗る  
高村 一男  
落ち葉の葉ふまれてみたい落ち葉かな我が身に代える落ち葉の気持ち  
竹内 昭剛  
ウォーキング町民こぞつて八勢橋へ行きも帰りも紅葉のなか  
田村 洋一  
石橋のすそに映えたる紅葉かな今は行きかう人も無きなり  
中川 俊一  
山深き錦おりなす耶馬溪の行きかう人の笑顔うれしや  
増井 博行  
久しぶり昔の友と酒をのみ夜の明けるのも忘れて過ぐす  
松永 幸輝  
部屋のリニューアルとかけてもずくと解く  
その心はどちらにも改装（海藻）です  
内村 孝子